

【令和2年度】 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証一覧表

No	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	A					実施内容	成果 (可能な限り定量的な数値で表示)	効果・検証
					総事業費 (千円)	B 国庫補助額 (千円)	C コロナ 交付金 (千円)	D その他 (千円)	E 一般財源 (千円)			
合計					513,670	30,517	468,796	14,357	0			
1	今帰仁村新型コロナウイルス感染拡大防止事業	①村役場を筆頭に村民が多く利用する村内公共施設における空間的安全、安心の確保を目的とする。 ②隔壁の作成・設置、窓口の間仕切りの作成・設置、消毒薬やマスク等消耗品の購入及び券売機等備品購入 ③村内公共施設等	R2.4	R3.3	14,418		14,417	1	0	・マスクや消毒液等の感染予防に係る消耗品の調達 ・アクリル板等の設置 ・券売機の設置	施設での新型コロナウイルス感染症発生件数：0件	役場庁舎や公共の施設において、感染対策を徹底することが可能となったことで、公共の場において安心・安全の空間を確保することが出来た。
2	今帰仁村新型コロナウイルス感染症村民活動対策支援室設置事業	①国・県から個人事業主等への事業も散見されるなか、村民に対して広く情報の提供および申請の手助けを目的とする。 ②専門職員及び会計年度任用職員の人件費、プレハブ等専門窓口の設置、消耗品費等其他事務費 ③今帰仁村役場	R2.5	R3.3	4,172		4,171	1	0	・相談窓口の設置 ・専門職員の配置	プレハブ設置：1棟 窓口案内係：1名	新型コロナウイルス感染症における専用の窓口を設置したことで、行政の通常業務との区別ができ住民の方には適切に案内し広く情報を提供することができた。
3	今帰仁村新型コロナウイルス感染症家計支援対策	①村民全員に家計支援を目的としたお見舞金を給付する。 ②見舞金給付 ※R2年4月27日基準日 ③今帰仁村民全員	R2.10	R3.3	51,402		51,401	1	0	・村民1人に対し家計支援として5千円を給付	家計支援の件数：(9,107人/9,107名) 給付率：100%	新型コロナウイルスの影響により、感染対策などこれまでになかった費用がかかり、家計の負担が大きくなるなか村民全員にお見舞い金を給付したことで、家計負担の軽減が図られた。
4	今帰仁村新型コロナウイルス感染症に係る学習支援事業	①新型コロナウイルス感染症防止対策のため休校時における、児童生徒の学習機会の確保、在宅児の状態確認及び「0」ラミング教育・デジタル教材の活用により、ICT社会へ対応するための基礎能力の向上支援。 ②学校内の通信環境の整備とタブレット端末導入。 ③村内小中学校	R2.6	R3.3	13,275		13,275	-	0	・村内各小中学校へタブレット端末の導入	タブレット端末の設置数：233台	村内の全小中学校へタブレット端末を配置できたことで、各学校において授業のデジタル化が図られ、緊急時においても村内児童生徒の学びの保証を確保する基盤が構築された。
5	公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金	① 新型コロナウイルス感染症防止対策のため休校時における、児童生徒の学習機会の確保、在宅児の状態確認及び「0」ラミング教育・デジタル教材の活用により、ICT社会へ対応するための基礎能力の向上支援に資するため村立学校の通信環境整備を行う。 ② 学校内の通信環境の整備。 ③ 村立兼次小学校、村立天底小学校、村立今帰仁中学校	R2.8	R3.3	14,960	7,480	5,984	1,496	0	・村内各小中学校の通信環境の整備	村内 小学校：3校 中学校：1校	校内のオンライン環境を整備したことで、児童生徒の学習の機会が確保されデジタル教材等の活用により基礎能力の向上が図られ、ICTを活用した新たな学習形態を構築することができた。
6	公立学校情報機器整備費補助金	(GIGAスクールサポーター配置支援事業) ① 新型コロナウイルス感染症防止対策のため休校時における、児童生徒の学習機会の確保、在宅児の状態確認及び「0」ラミング教育・デジタル教材の活用によるICT社会へ対応するための基礎能力向上支援。 ② タブレット端末導入と導入端末活用のための支援員配置 ③ 村内小中学校	R2.8	R4.3	2,217	1,108	1,109	-	0	・GIGAスクールサポーターの配置	GIGAスクールサポーター配置人数：2名	GIGAスクールサポーターの配置により、ICT環境整備に関する専門的知見からの助言や整備後の利活用法について検討する事ができ、子ども達の情報活用能力の育成が図られた。
7	統合型校務支援システム導入事業	① 教職員の業務軽減を図り、長時間勤務を解消することによって、新型コロナウイルス感染症対策による長期休業明けでの、不登校や登校しぶり、保健室登校が増える中、より児童生徒へ接する時間を増やし、児童生徒が発する「困りのサイン」を見逃すことなく心のケアを教職員が行うための時間創出を図る。 ② システム導入費（クラウドサーバー使用料等含む） ③ 村内公立学校教職員	R2.9	R4.3	12,934		12,933	1	0	・今帰仁村小中学校統合型校務支援システムの構築	村内 小学校：3校 中学校：1校	村内小中学校の教職員の負担軽減が図られ児童生徒との接する時間が増えたことで心のケアも今まで以上に出来るようになった。
8	今帰仁村農業者経営早期再建支援事業	① 新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み、農業者の事業継続や早期の事業再建を図る。 ② 事業の継続や次回作付けに係る資材購入等 ③ 申告済み村内農業者	R2.4	R3.3	11,998		11,997	1	0	・農業者の事業継続や再建を支援	支援件数：238件	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた農業者に対し支援をしたことで、負担の軽減が図られ継続的な経営に繋がった。
9	今帰仁村事業者等経営早期再建支援事業	① 新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み、村内個人事業者等の事業継続や早期の事業再建を図る。 ② 事業の継続等に係る資材購入等 ③ 申告済み村内個人事業主、漁業経営者等	R2.4	R3.3	13,558		13,558	-	0	・個人事業者等の事業継続や再建を支援	支援件数：268件	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者に対し支援をしたことで、負担の軽減が図られ継続的な経営に繋がった。
10	今帰仁村新たな観光誘客の仕組み及び観光経済回復対策事業	① 観光客の受け入れ基盤を速やかに整備するとともに、地域が一体となって「新たな生活様式」に沿った旅行スタイルに対応した着地整備を進める。 ・地域の自然、歴史、文化、食、イベントなどの観光資源をより安全で、誘客力の高い滞在型のものに磨き上げる「新たな観光商品づくり」 ・公認された全村の観光情報と個別事業者の鮮度の高い情報を提供できる「新たな情報発信づくり」 ・観光客を誘致し、魅力ある観光資源を地域連携により連続して提供できる「新たな地域組織づくり」 ② 地域ビジョン作成、商品開発、HP等製作・情報発信、各種媒体の印刷、人件費等 ③ 村内宿泊業者、飲食店業者、商工業者等	R2.7	R3.3	39,347		39,347	-	0	・地域ビジョン・行動計画の策定 ・商品開発デザイン ・webサイト構築 ・PR動画制作 ・るるぶ製作 ・PRフェアイベント	地域ビジョン・行動計画の策定：タスクフォース（5回） 商品開発デザイン：パンフレット(30,000部) ポスターA2（2,000部）B2(1,000部) webサイト構築：(1式) PR動画制作：短編動画（6本） るるぶ製作：冊子（30,000部）電子(16P) PRフェアイベント：（1回）	地域ビジョン・行動計画を策定し新たな情報発信づくり（イベントに参加して頂いたことで、今帰仁村の魅力を伝える事ができ、今後の観光需要に繋がる観光の振興が図られた。

11	今帰仁村経済回復対策事業	① 新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ観光需要のV字回復を目的に宿泊・飲食・観光関連事業のみではなく村内事業所を巻き込んだイベントを開催し今帰仁村の観光需要を高める。 ② 会場設営費・備品リース費・人件費・各種媒体の広告費・運営費等 ③ 村内事業者	R2.7	R3.3	19,173		19,173	-	0	・今帰仁城跡ライトアップ及びプロジェクトマップ ・今帰仁再発見村民発信PR（今帰仁ウォーカー）	イベント：2件 チラシ：7,000枚	コロナ禍で活動制限や新たな生活様式で戸惑いや不安になっている村民や観光客にイベントを通じて、今帰仁村の魅力伝える事ができたことで、今後の観光需要に繋がる観光の振興が図られた。
12	今帰仁村商工業者応援プレミアム付き商品券販売事業	① 新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ今帰仁村内の消費の早期回復と村民の生活支援及び商工業者等を支援する。 ② プレミアム費用・事業費 ③ 村内商工業者	R2.8	R3.3	23,798		23,798	-	0	・プレミアム商品券の発行	プレミアム商品券利用額：59,589,500円	村内店舗で利用できるプレミアム付商品券を発行したことで地元消費の拡大に繋がり、利用者と事業者の双方の支援ができコロナ禍で低迷した地域経済の活性化が図られた。
13	今帰仁村新型コロナ対策緊急支援事業	① 新型コロナウイルス感染症の影響により経済的に困窮している世帯へ食料品等の配布を行う。配布する食料品については、村内小売商店を中心に食料品詰め合わせをセットしてもらい対応する。 ② 生活困窮者への食糧支援 ③ 村内困窮世帯	R2.7	R3.3	11,932		11,931	1	0	・生活困窮者への支援体制を確保し、食料品などの支給をおこなった。	生活困窮世帯への支援件数：1,030件	コロナ禍において、経済的困窮に陥る世帯が増加している状況にある中、食料品等を提供することにより経済的負担の軽減及び心身の健康と生活の安定が図られた。
14	今帰仁村新型インフルエンザ感染症防止事業	① ワクチンが開発されているインフルエンザの予防接種を促進することで、新型コロナウイルスに感染した場合の重篤化リスクの軽減と地域医療体制崩壊を防ぐ。予防接種促進のため、村民の摂取費用の一部を助成する。 ② インフルエンザ予防接種費用の助成 ③ 村民	R2.10	R3.3	11,451		11,451	-		・村民に対しインフルエンザ予防接種に係る費用を助成	予防接種者数：3,312人	新型コロナウイルス感染症と症状が酷似するインフルエンザの流行を抑えたことで医療現場の混乱を回避することができた。
15	今帰仁村新生児特別定額給付金事業	① 特別定額給付金の支給基準日（令和2年4月27日）に本村の住民基本台帳に登録されている新型コロナウイルス感染症の影響を受けた母親が、支給基準日以降から令和3年4月1日までに出産した場合、出生した乳児に対し、育児支援金を給付する。 ② 対象乳児（1人当たり）5万円の支給 ③ R2年度内に出産した母親	R2.9	R3.5	2,880		2,880	-		・新生児1人につき5万円を給付し、家計支援対策給付金を受給していない新生児には5千円を加算して給付。	新生児給付者数：54名 家計支援給付数：(36名)	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた、新生児に対し給付金を支給することにより経済的支援を図ることができた。
17	文化芸術振興費補助金	(文化施設の感染症防止対策事業) ① 世界遺産今帰仁城跡の歴史を紹介する博物館施設である今帰仁村歴史文化センターの空調設備の整備を行う。当該施設の空調設備が劣化しており、換気機能がないため更新工事を実施、機能強化することで換気を行う。 ② 空調設備（パッケージエアコン） ③ 歴史文化センター来館者	R2.10	R2.12	508	254	203	51		・「今帰仁村歴史文化センター」における、空調設備の整備を実施。	換気扇2基、エアコン1基	世界遺産今帰仁城跡の歴史を紹介する博物館施設であるエントランスホールの空調設備を整備したことで、感染対策ができ入館者の感染によるリスクの軽減が図られた。
18	公共施設等の管理維持体制持続化事業	① 防災避難施設である公共施設及び村民が広く活用する公共施設の機能整備を図ることにより、利用者と管理者の安心・安全な環境を確保する。また、コロナ禍後の村民のフレイル対策としての健康増進施設の提供を目的とする。 ② 1、空調機器の整備 ・今帰仁村総合運動公園内 ・中央公民館 ・今帰仁村葬祭場 2、備品購入 ・ランニングマシン、エアロバイク ・自動水中掃除ロボット、コースロープ 3、機器修繕 ③ 村運動公園施設利用者	R2.9	R4.3	33,388		33,387	1		・空調機器の整備（クラブハウス、火葬場、村民体育館、中央公民館） ・備品購入（ランニングマシン等） ・機器修繕（トレーニング機器）	空調機器整備：4件 備品購入：4台 機器修繕：1式	村内外の多くの方が利用される施設において空調機器の整備をおこなった事で利用者の感染リスクの軽減が図られた。また、機器の充実を図ることで安心・安全な環境が確保され村民のフレイル対策としての健康増進に繋がった。
19	無線システム普及支援事業費等補助金	① 古宇利島に光ブロードバンド整備を行い、古宇利島在住者や古宇利の事業者等がテレワークできるようにする。 ② 光ブロードバンド整備費用 ③ 古宇利住民	R3.2	R3.4以降	40,000	20,000	7,200	12,800		・古宇利島において光ブロードバンドの整備	無線局の設置：1基	コロナ禍において、外出を抑えるなか事業者や住民の方へテレワークなどの環境を整備することができ生活の充実が図られた。
20	今帰仁村職員在宅勤務導入支援事業	① 新型コロナウイルスの第2波等で、村職員が在宅勤務となった時のため、タブレット端末を購入し、自宅からでもweb会議やリモート接続による、自端末へのアクセス等ができる環境を整備し、在宅でも業務をすることができるようにする。 ② タブレット端末購入費、システム構築費等 ③ 今帰仁村役場職員	R2.9	R3.3	15,957		15,956	1		・リモートワーク用ネット回線新設 ・リモートワーク用ノートパソコン購入	ネット回線新設：1式 ノートパソコン購入：50台	リモート環境が整えられたことで、公共施設での接触機会の軽減が図られ、感染症のリスク低減と通常業務を遂行することができた。
21	今帰仁村公立学校情報機器整備事業	① 新型コロナウイルス感染症防止対策のため休校時における、児童生徒の学習機会の確保のため、村内公立学校の情報機器整備を行う。 ② タブレット端末導入経費 ③ 村内公立学校	R2.8	R3.3	32,704		32,703	1		・タブレット端末の導入	小学校：3校 中学校：1校	タブレット端末を利用できる環境を整備したことで、コロナ禍においても村内児童生徒の学びの保障を確保する基盤が構築された。
22	今帰仁村法人事業主早期再建支援金交付事業	① 新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み、村内法人事業主の事業継続や早期事業再建を図るために支援金を交付する。 ② 負担金・補助金 ③ 法人税申告済み村内法人事業主	R2.10	R3.2	2,585		2,584	1		・村内法人事業主への早期再建支援金を交付	支援件数：51件	コロナ禍で収入が減少し事業継続に支障が生じている村内法人事業主へ、早期再建に繋がる経済的支援が図られた。
23	学校保健特別対策事業費補助金	(学校再開に伴う感染症対策・学習補償等に係る支援事業及び感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) ① 新型コロナウイルス感染症対策のため村内公立学校における、校長裁量で必要事項を整える。 ② 校長裁量で各学校に必要な物品の購入等 ③ 村内公立学校	R3.3	R3.3	3,200	1,600	1,600	-	0	・村内公立学校における感染症対策に係る物品の購入	学校でのクラスター発生件数：0件	各学校に応じた感染症対策が講じられたことで、校内での感染リスクの低減が図られた。

24	障害者総合支援事業費補助金	(新型コロナウイルス感染拡大に伴う地域活動支援センターや日中一時支援事業の受け入れ体制強化等) ① 本村が委託している日中一時支援事業における預かり支援等においてマスク、消毒液、体温計等の感染予防対策に必要な消耗品の購入に係る経費を委託料に加算し支払う ② 委託料加算 月/16,000円×12か月 = 192,000 ③ 今帰仁村社会福祉協議会	R2.4	R3.3	87	43	44	-	0	日中一時支援事業における利用者、介助者の感染予防対策に必要なマスク、消毒液、体温計等の消耗品に対する経費について加算を行った。	日中一時支援事業において必要な感染予防対策を行う事ができた。	日中一時支援事業は障害者、児の一時預かりを行う事業であるが、感染予防対策を行う事で、安全に事業を遂行する事ができた。
25	障害者総合支援事業費補助金	(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う訪問入浴サービス等体制強化事業) ① 村内手話通訳者設置事業の通訳業務等においてマスク、消毒液、体温計等の感染予防対策に必要な消耗品の購入及び本村が委託し実施している移動支援事業においてマスク、消毒液、体温計等の感染予防対策に必要な消耗品の購入に係る経費を委託料に加算し支払う ② 感染症対策消耗品等の購入 ③ 今帰仁村社会福祉協議会	R2.4	R3.3	65	32	33	-	0	意思疎通支援事業における手話通訳者、利用者の感染予防対策に必要なマスク、消毒液、体温計等の消耗品の購入を行った。 移動支援事業における利用者、介助者の感染予防対策に必要なマスク、消毒液、体温計等の消耗品に対する経費について加算を行った。	意思疎通支援事業、移動支援事業において必要な感染予防対策を行う事ができた。	意思疎通支援事業、移動支援事業どちらの事業も外出を伴う事業であるが、感染予防対策を行う事で、安全に事業を遂行する事ができた。
26	今帰仁村高速通信インフラ整備事業	① 村内観光業等の個人事業主より要望の多い村内全域の高速通信インフラ整備を行う。 ② 村内高速通信インフラ整備 ③ 村民	R3.4	R4.3	134,065		134,065	-	0	今帰仁村内光ブロードバンド未整備地域の調査及び光ブロードバンド整備	今帰仁村内光ブロードバンド未整備地域光ファイバー敷設	コロナ禍において外出を控えるなか、高速光インターネットが未整備地域の事業者や住民の方へテレワークなどの環境を整備することができ生活の充実が図られた。
27	今帰仁城跡ガイド事業継続支援補助金	① 新型コロナウイルス感染症の影響により、入場者数が落ち結果としてガイド利用者も減少、ガイドを実施している今帰仁グスクを学ぶ会が今後の活動に必要な感染症対策補助金を交付する。 ② 負担金・補助金 (Withコロナのガイド活動及び城跡誘客に対する補助金) ③ 今帰仁グスクを学ぶ会	R3.3	R3.3	2,800		2,800	-	0	・感染対策を万全にし、来場者が安心して今帰仁城跡のガイドを受けられる態勢の整備	イヤホンガイド：1式 消耗品（マスク、消毒液、噴射機）：1式	ガイド実施時、団体客であっても三密を防ぐとともに個々のイヤホンでのガイド聴取で音声も明瞭に伝わることにより満足度の向上及び感染リスクの低減が図られた。
28	本部町今帰仁村消防組合備品整備負担金	① 新型コロナウイルス感染防止対策として、救急車両等で使用可能なガス式ウイルス除染装置等を整備し、安全な救急搬送体制等の構築を図る。 ② 負担金・補助金 (オゾン消毒機器等備品の導入) ③ 本部町今帰仁村消防組合	R3.3	R3.3	796		796	-	0	・オゾン消毒機器等備品の導入	オゾン発生装置：2式	新型コロナに感染した要救助者への対応が求められるなか、必要な機材を整備したことで、救急現場での感染リスクの低減が図られた。